

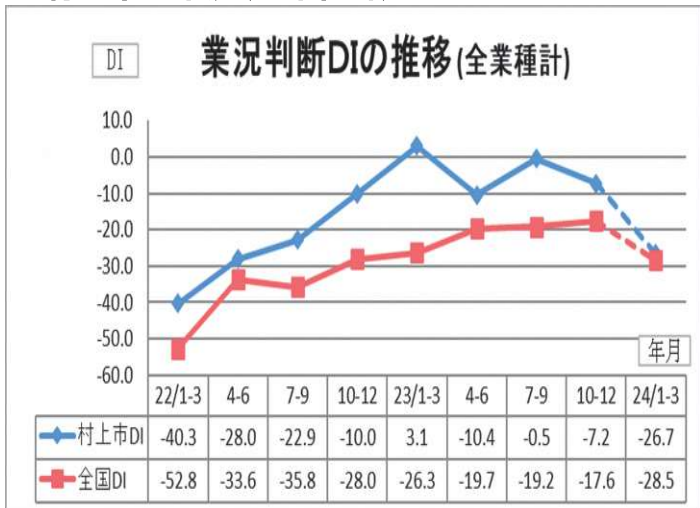


村上市 景況調査報告

〈令和5年10-12月期の実績・令和6年1-3月期の見通し〉

『人手不足、物価及び人件費高騰の影響大きく、地震の風評被害が懸念』

■村上市の業況(全業種計)

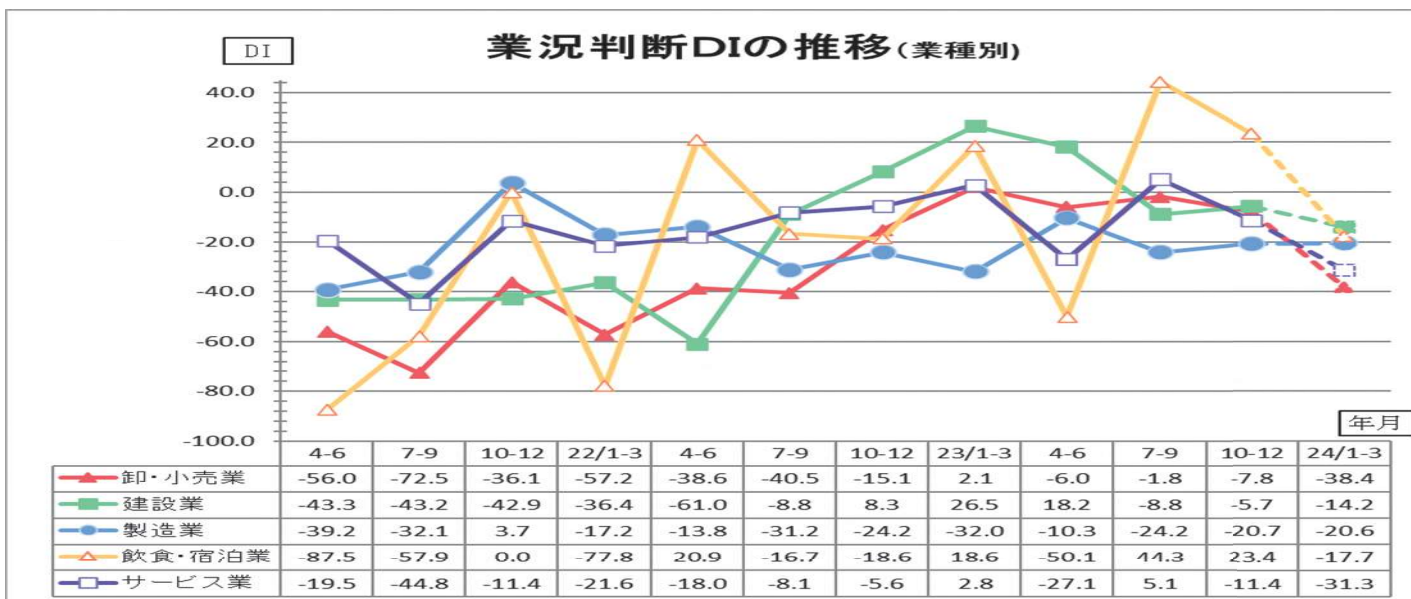


今期(10-12月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(7-9月期)と比べ6.7ポイント低下し▲7.2となった。前期における今期予測(▲5.2)より2.0ポイント低下し、前年同月比では2.8ポイント上昇した。全国DIは1.6ポイント上昇し▲17.6となった。

来期(1-3月期)については、19.5ポイント低下し▲26.7となる見通し。全国DIは10.9ポイント低下し▲28.5となる見通し。

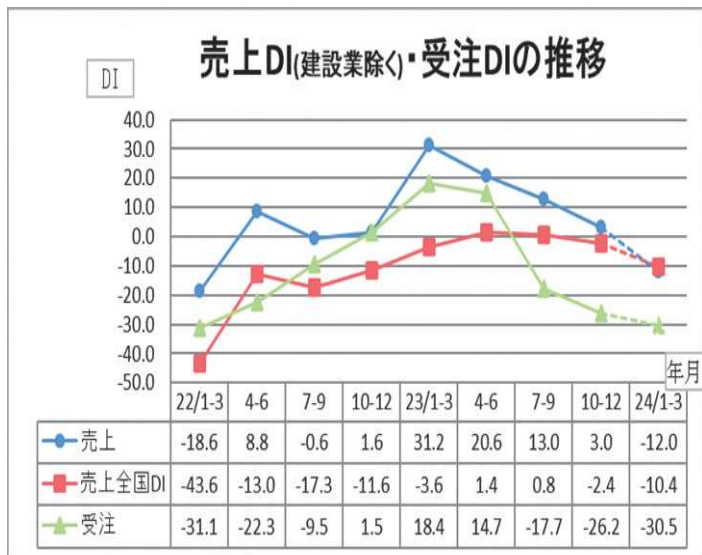
全業種において、物価高騰や人手不足、賃上げによる人件費の増加などにより利益が圧迫され、DI値も低下している。

見通しとしては、地震の風評被害が懸念されておりDI値は低下を示しているものの、市の飲食券、北陸応援割、人形さま巡りに期待されている。



■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>昨年は大雪の影響で客足が鈍かったが、今季は小雪のため年末は客数が伸びたとのコメントがあるが、売上不振、顧客の高齢化などの理由により、DI値は低下している。</p> <p>見通しとしては、人形さま巡りに期待されているものの、地震の風評被害が懸念され、客足が鈍くなることが危惧されている。</p>	<p>まだまだ災害復旧工事が多いという企業と、受注減少で引き続き厳しいという企業の両極端に分かれる。コメントでは、人材不足、異常気象の影響、受注規模が小さく採算がとれないなどが挙げられている。</p> <p>見通しとしては、引き続き同じような状況が継続されるとの予想が多い。</p>	<p>受注は回復してきているが、人材不足で仕事量をこなせない。人材が不足しているのせいで受注が受けられない。この悪循環にコスト増加が加わり、利益が増えないとのコメントが多い。</p> <p>見通しとしては、同じような状況が続くとの見方が多いが、外国人技能実習生を受け入れ、体制強化しているところもある。</p>	<p>飲食業では市の商品券により好調。テイクアウトが増加しているとのコメントもあるが材料高騰により利益率減少。ドライブインでは働き方改革によりトラックドライバーの流れが悪くなっている。</p> <p>宿泊業では、旅行補助金があったので前年比では売上減少。日帰り売上が好調のところもある。</p> <p>見通しとしては、市の飲食券、北陸応援割に期待が寄せられている。</p>	<p>物価高騰というコメントは引き続き多いが、人件費増加による利益圧迫というコメントが増えてきた。</p> <p>見通しとしては、観光業では地震の影響、鮭漁の不漁などの理由により観光客も減少するとの見方からDI値も大きく低下している。</p>



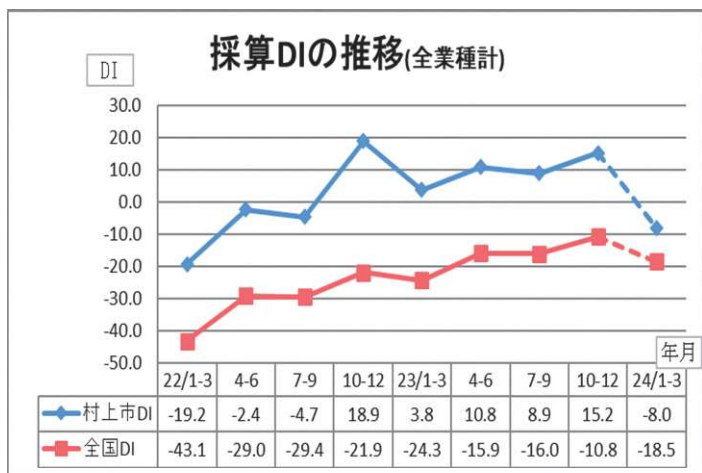
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、10.0%低下し3.0となった。前期における今期予測(8.2)より5.2%低下し、前年同月比では1.4%上昇した。全国DIは3.2%低下し▲2.4となった。

来期については、15.0%低下し▲12.0となる見通し。全国DIは8.0%低下し▲10.4となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、8.5%低下し▲26.2となった。前期における今期予測(▲24.2)より2.0%低下し、前年同月比では27.7%低下した。

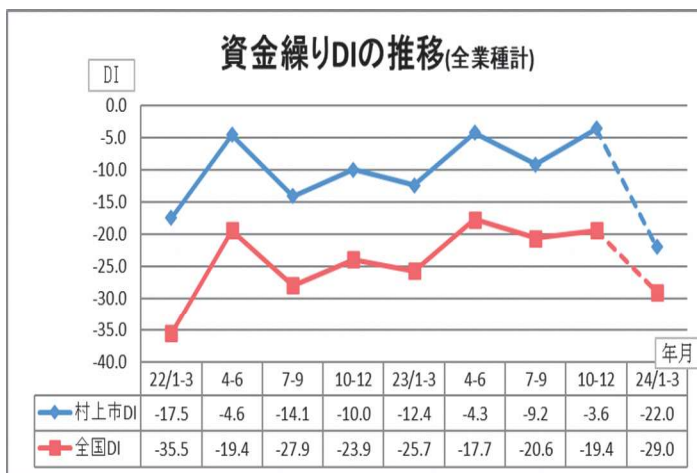
来期については、4.3%低下し▲30.5となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-20.6	-32.3	-34.4
・製造業	-14.3	-18.6	-26.0



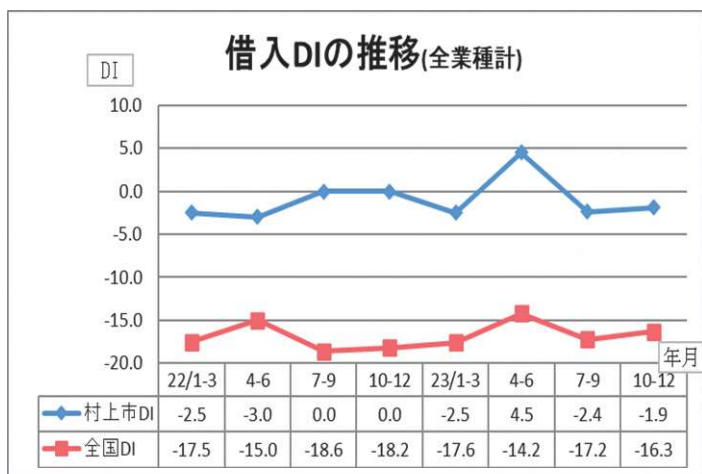
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、6.3%上昇し15.2となった。前期における今期予測(14.9)より0.3%上昇し、前年同月比では3.7%低下した。全国DIは5.2%上昇し▲10.8となった。

来期については、23.2%低下し▲8.0となる見通し。全国DIは7.7%低下し▲18.5となる見通し。



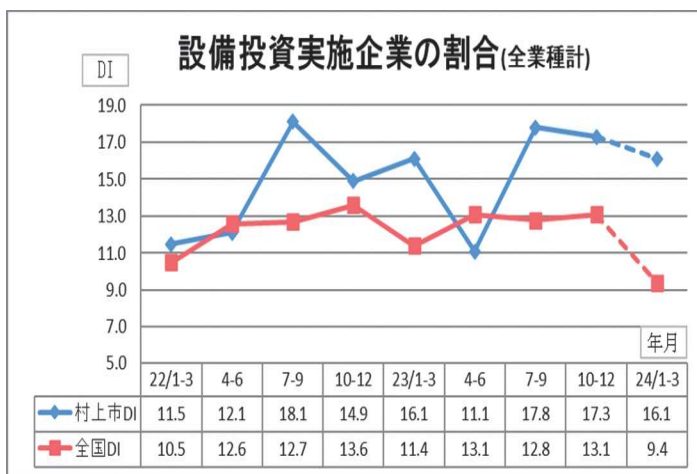
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、5.6%上昇し▲3.6となった。前期における今期予測(▲20.2)より16.6%上昇し、前年同月比では6.4%上昇した。全国DIは1.2%上昇し▲19.4となった。

来期については、18.4%低下し▲22.0となる見通し。全国DIは9.6%低下し▲29.0となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、0.5%上昇し▲1.9となった。全国DIは0.9%上昇し▲16.3となった。

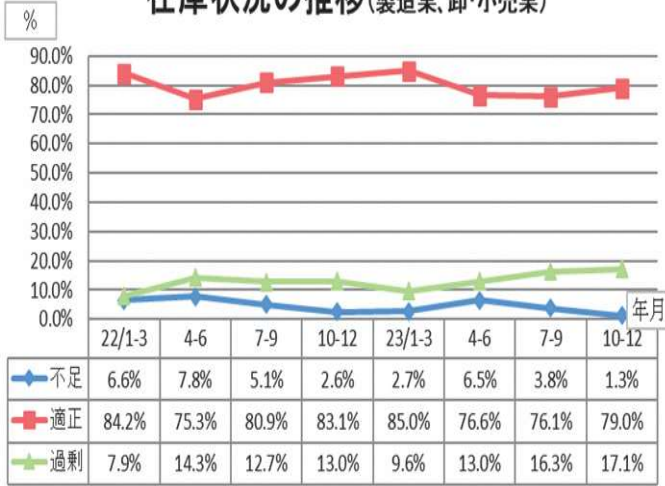
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	2.3%	→ 3.0%
・変わらない	38.6%	→ 36.0%
・難しくなった	4.1%	→ 4.9%



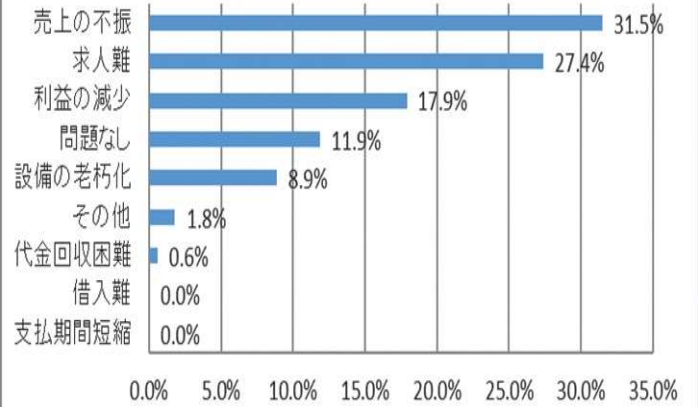
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、0.5%低下し17.3となった。前期における今期予測(13.3)より4.0%上昇し、前年同月比では2.4%上昇した。全国DIは0.3%上昇し13.1となった。

来期については、1.2%低下し16.1となる見通し。全国DIは3.7%低下し9.4となる見通し。

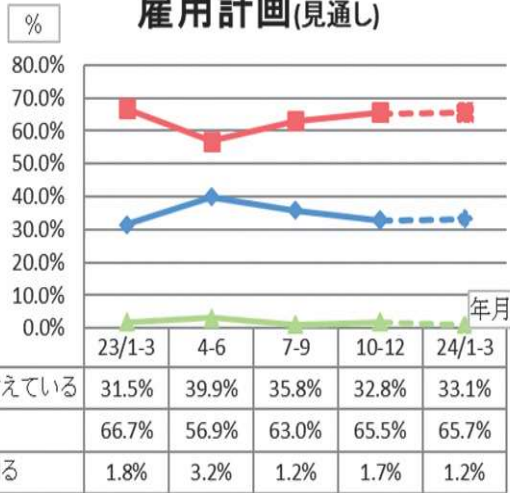
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



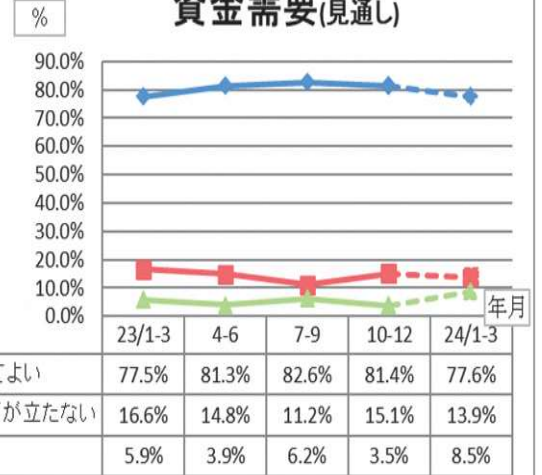
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)

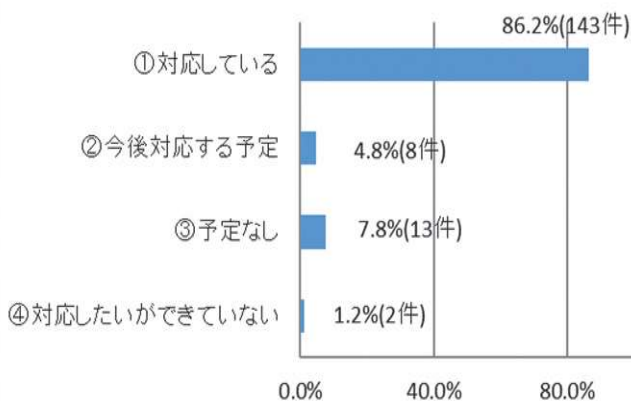


■インボイス制度への対応状況と影響について

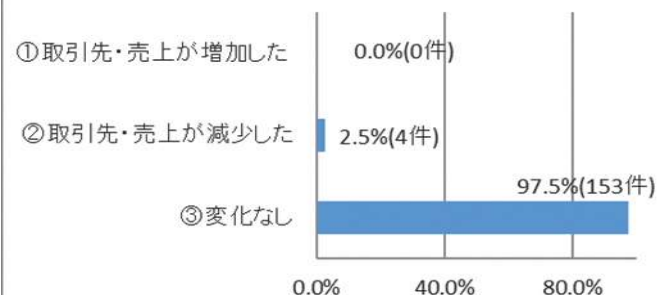
現在のインボイス制度への対応状況を教えてください。

インボイス制度が開始されてから現在までの取引先と売上の増減状況について教えてください。

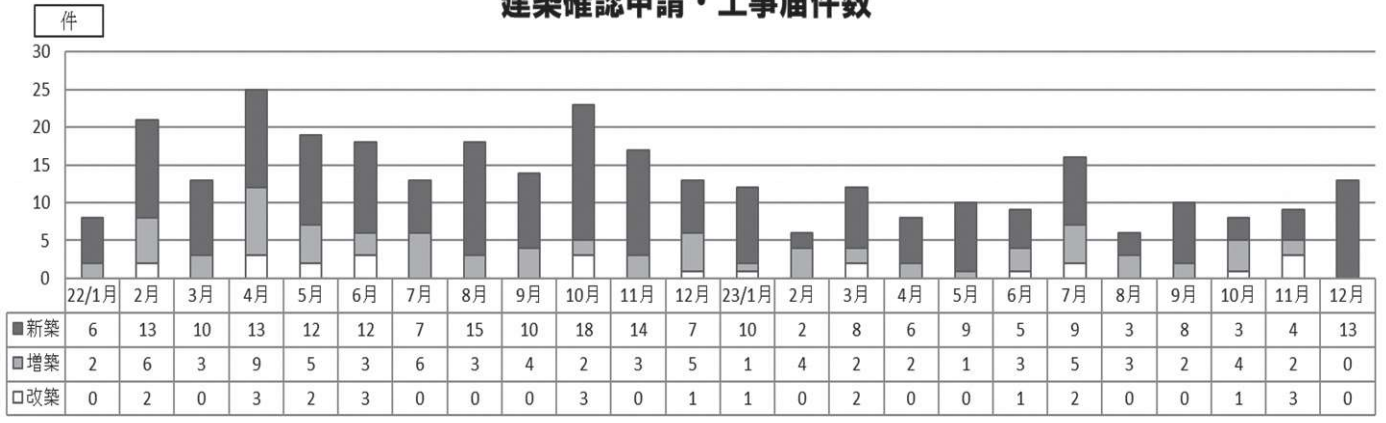
インボイス制度への対応状況



インボイス制度が開始されてから現在までの取引先と売上の増減状況

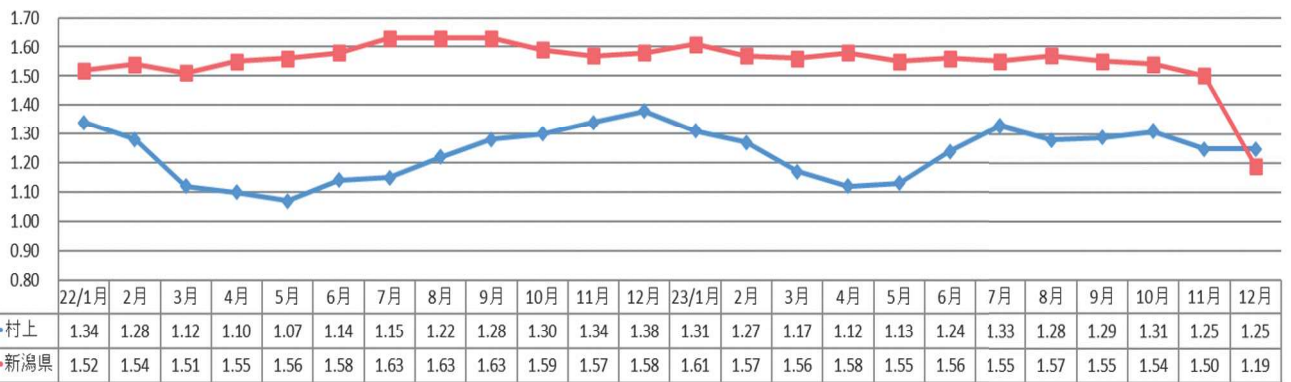


建築確認申請・工事届件数



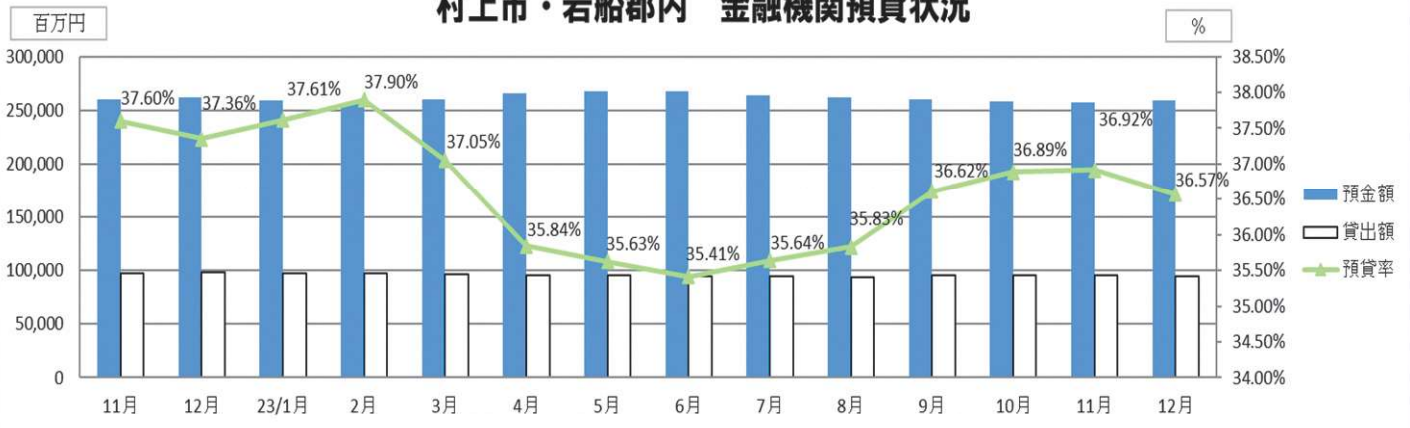
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2023年12月中旬～2024年1月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:168社(回収率84.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2023.10-12実績・2024.1-3見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)